

2-7

介護予防

地域交流

介護予防への取り組み

職員の発想が生み出した地域を巻き込む介護予防への取り組み

軽費老人ホーム A 型 サンホーム

発表者：主任介護員 加島 千津子	共同研究者：相談員 澤田 順子
所在地：東京都東村山市富士見町 2-7-40	
TEL：042-391-3274	E-mail：sunhome@themis.ocn.ne.jp
FAX：042-391-3366	URL：http://www3.ocn.ne.jp/~sunhome/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	施設種別…軽費老人ホーム A 型（経過的）東村山市に位置し、特別養護老人ホームを併設。45 年の歴史の中地域に根ざす施設を目指す。持てる力への支援～潤いのある生活を楽しむ～を運営目標に介護予防に主眼を置き支援を展開しております。
----------------------------	--

〈取り組んだ課題〉

施設理念である「持てる力への支援」を具現化するために、利用者に公開講座を依頼した。
今回は依頼から開催～現在に至るまでのプロセスとその中で得ることの出来た成果を報告したい。

〈具体的な取り組み〉

公開講座は平成 17 年度より取り組んでいる。市報を利用し広報活動をしたところ参加者が増え、その後広報の幅としてはタウン誌等への掲載も依頼する。

参加者が増えるに従い、施設内の雰囲気も活性化し外部へ施設をアピールする意識と取り組みが見られ始めた。また、本人においては外出の機会が増え新たな意欲が見え始めた。

地域の参加者からは様々な意見と共に期待、交流の幅も広がり、本人以外との交流も見られ始めている。

全体的に。職員が期待した以上に良い効果が見られている。

現在も公開講座を継続し、新たな課題に取り組んでいるが、中長期の課題設定を行う上で今回の発表を一つのまとめとしたい。

〈活動の成果と評価〉

当初期待された成果以外に、対象利用者自身の行動範囲がひろがり、また、奥様や施設利用者、地域の方にも行動の変化が見られた。

施設自体も外部に向けた情報発信の必要性を再認識し、地域交流の活性化に繋がった。

〈今後の課題〉

現在もなお公開講座を開催し、地域交流と介護予防の一環としているが、今後開催する中で対象利用者の体力的な問題と、施設開放に向けた具体的な取り組みと、地域交流のナレッジを継承するためにも文章化していくことが課題である。

〈参考資料など〉

特になし。

【メモ欄】